PMF-1203 (20102)

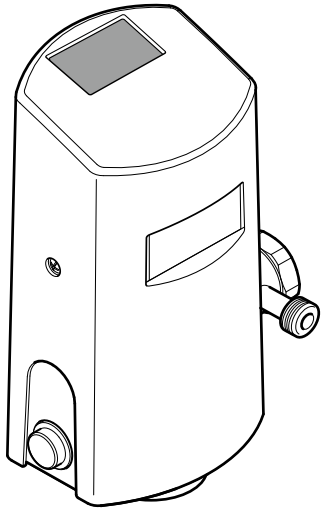
施工説明書

大便器自動洗浄システム

オートフラッシュ C　センサー 一体形後付けタイプ(100V式)

シャワートイレ自動洗浄対応

OKC-A500SCW



このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

●この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく本商品を施工してください。

●施工後は必ず試運転を行ってください。

●お客さまに必ず本書と取扱説明書(保証書付)をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

安全上の注意（必ずお守りください。）

●施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

⚠警告	「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠注意	「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害※のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

禁止　この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行　この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠警告

水場使用禁止	**バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。** ※感電・火災の原因になります。
ぬれ手禁止	**濡れた手で電源プラグおよびコネクタにさわらないでください。** ※感電の原因になります。
水かけ禁止	**水や洗剤(特にサンポールやドメスト)をかけないでください。** ※感電･火災や外観劣化の原因になります。

⚠警告

禁止	**ガタついているコンセントを使わないでください。** ※感電・火災の原因になります。
	電源配線をはさんだり、キズ付けたりしないでください。 ※故障・感電の原因になります。
	交流 100V 以外では使用しないでください。 ※火災の原因になります。
	電源線の加工（切断・継ぎ足し）は行わないでください。 ※感電・火災の原因になります。
	シャワートイレ自動洗浄対応には上水道以外は使用しないでください。 ※機械の内部腐食により、発火・ショート・感電・故障の原因になります。
指示実行	**万一の際の危険防止のため、電源の一次側に次の漏電遮断器を設置してください。** **●高感度高速形（定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下）** ※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
	電源線を差込形コネクタに差し込むときや電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。 ※感電・火災の原因になります。 ※この作業の前に必ず漏電遮断器が切ってあることを確認してください。 ※この作業は電気工事になりますので、必ず資格を持った電気工事士が行ってください。
分解禁止	**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造を行わないでください。** ※故障・感電・火災の原因になります。

⚠注意

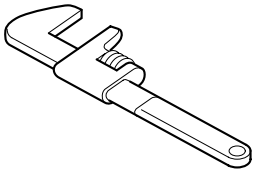
禁止	**強い力や衝撃を与えないでください。** ※故障・漏水の原因になります。
	凍結の恐れがある場所では使用しないでください。 ※凍結破損により故障・事故・漏水の原因になります。
	本体の通水路には抵抗となるようなオリフィスなどをつけないでください。 ※洗浄性能への悪影響や漏水の原因になります。
指示実行	**自動フラッシュバルブ本体は重いため取り扱いには十分注意してください。** ※落とすと、自動フラッシュバルブ本体や衛生陶器が破損して漏水し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。また、ケガをする恐れがあります。
	ピストンおよびダイアフラムの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。 ※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。 ※この作業の前に必ず漏電遮断器が切ってあることを確認してください。
	取付接続部に腐食・ひび割れ等のないことを十分確かめた上、取り付けてください。 ※故障・漏水の原因になります。
	新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。 ※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などを濡らす物的損害発生の恐れがあります。

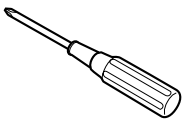
仕様

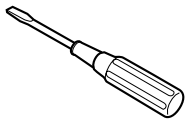
品名		オートフラッシュC センサー一体形後付タイプ（100V式） シャワートイレ自動洗浄対応
品番		OKC-A500SCW
カバー寸法		130（幅）×110（奥行）×252（高さ）mm
洗浄水量調節範囲	大	8 ～ 16L 調節可能（出荷時 10L 設定）
	小	6 ～ 8L 調節可能（出荷時 8L 設定）
給水圧力※1	最低必要水圧	0.07MPa（流動時）（瞬間流量 102L/ 分）以上 ※ C-26U の場合は、0.08MPa 以上
	最高水圧	0.75MPa（静水圧）
電源		AC100V, 50/60Hz
消費電力		常時：3W 以下　バルブ作動時：5W 以下
電磁弁駆動電圧		DC6V
電源コード長さ		1.3m
感知距離	手かざし	100mm 固定（グレー紙 80mm 角の場合）
人体感知確定時間		シャワートイレに着座後　6 秒以上
手かざし感知時間		1 秒、2 秒に設定可能（出荷時 1 秒）
大小洗浄判定時間		シャワートイレ側で設定（50 秒 /120 秒 /150 秒）（出荷時 50 秒）
フルオート便器洗浄開始時間		シャワートイレ側で設定(6秒 / 10秒 / 15秒、フルオート便器洗浄なし)(出荷時 6秒)
各種機能	初期洗浄	入 / 切　切替可能（出荷時 切）
	大小洗浄	シャワートイレ側にて大小／大 切替可能（出荷時 大）
	掃除洗浄	掃除用磁石スイッチで任意に機能停止復帰が可能 また機能停止 4 分後に、自動復帰
二重洗浄防止		1 度洗浄を行うと、10 秒経過しないと、次の洗浄を行わない
設備保護洗浄		8 時間毎／24 時間毎／設備保護洗浄なし（出荷時 24 時間毎）
給水口径		25A（ねじサイズ R1）
使用温度範囲		0℃ ～ 40℃(ただし凍結の恐れのある場所では使えません)
使用水		上水

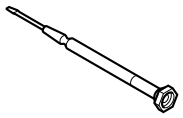
※1：他のフラッシュバルブを使用の際に止水時と通水時の水圧差が大きい場合、止水状態にあるフラッシュバルブへ水圧変動を及ぼすことで、止水状態にあるフラッシュバルブから、一時的に水が流れることがあります。故障ではありませんが、配管設計の際に水圧差が大きくならないようご配慮ください。

準備工具


モーターレンチ


プラスドライバー


マイナスドライバー

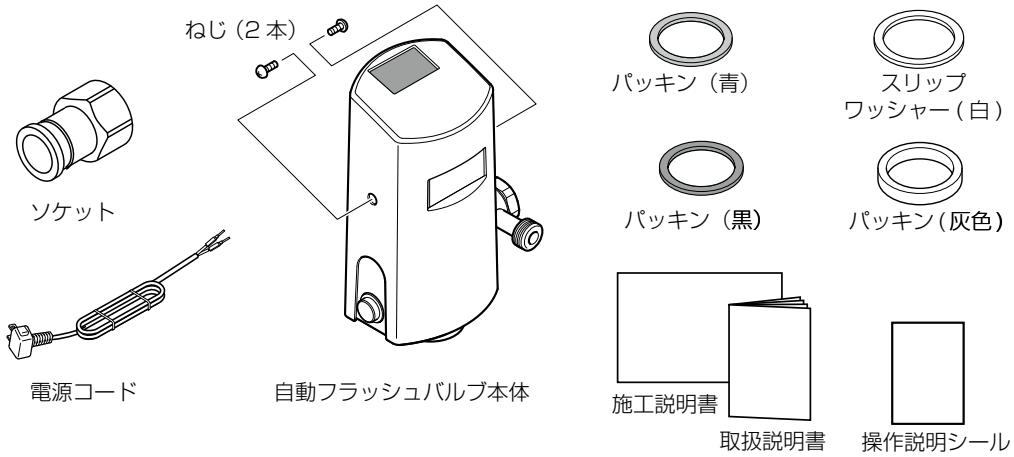

精密ドライバー（－）

取り付け前に

商品をダンボール箱から取り出す際、フラッシュバルブ本体を持ってください。

1. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



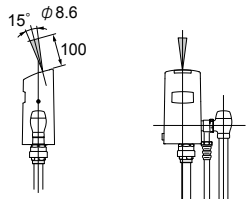
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。
※本書と取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

2. 取付条件の確認

●本商品オートフラッシュ C は、下図 A・B の場合は取り付けできませんので、事前にご確認ください。

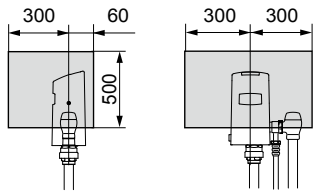
A. 感知領域内に障害物がある場合

手かざし感知エリア：グレー紙の場合



単位：mm

B. オートフラッシュ C 本体付近に手すり等がある場合（□ は必要空間寸法）

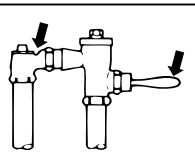
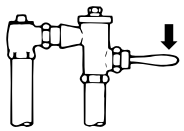
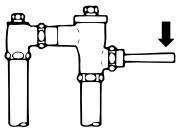
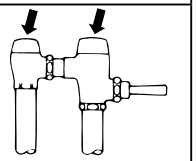


単位：mm

3. センサーについて

●男性が立って小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係により、小用の際に使用者を感知することができません。
●センサー窓に傷や汚れを付けたり、目隠しをしたりしないでください。誤感知や感知しないことがあります。
●施工の際にセンサー表面を傷つけないよう十分ご注意ください。
●インバータ照明や赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
●蛍光灯や太陽光などがセンサーに直接入らないように施工してください。
●完成図で指定する位置に設置してください。寸法を外れると感知できず正しく作動しません。
●天井が以下の様な仕様の場合、フルオート便器洗浄が使用できない恐れがあります。事前にご確認ください。
・天井の高さが 3m を越える場合
・吹き抜けや、ガラスなど光を通過する材質の場合
・黒のように濃い色の場合
・傾斜が付いていたり、平らでない場合
●シャワートイレ PASSO（E40 型）、K シリーズ（K30 型）と組合わせる場合、フルオート便器洗浄を行うことは可能ですが、一部機能や、配置に制限があります。詳しくは、当社支社・営業所までお問い合わせください。

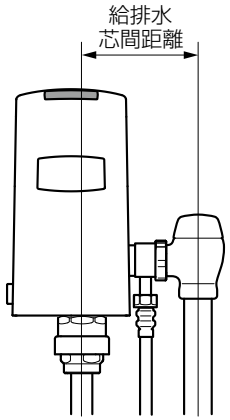
4. 取付可能な大便フラッシュバルブ

既設フラッシュバルブ ＼ オートフラッシュC品番	LIXIL フラッシュバルブ			
	 ～ 1975 年 11 月	 1975 年 12 月～1978 年 7 月	 1978 年 8 月～	 1990 年 7 月～
OKC-A500SCW	上記 2 タイプの場合は別途、止水栓 (品番：A-582) を手配ください		○	○

※他社製のフラッシュバルブには取り付けできません。

5. その他

●電気工事は、工程を十分打ち合わせの上で、行ってください。
●AC アダプターは必ず専用のものを使ってください。
●電源は AC100V(50/60Hz)、最大定格 5W に適した電気配線をしてください。
●電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が、断線や漏電のないように行ってください。感電や故障の原因となります。
●給水管内のゴミを洗い流してください。自動フラッシュバルブ本体を取り付ける前に、配管内のゴミ･砂･水垢･配管用接着剤等の異物を完全に洗い流してください。
●上水道以外に接続しないでください。
※機械内部の腐食により、発火・ショート・感電・故障および皮膚の炎症の原因になります。
●別売の有線式操作部と組み合わせる場合、同梱の中継ケーブルの切断・延長は行わないでください。故障の原因になります。同梱の中継ケーブルの長さは 5m です。
●5m以上の中継ケーブルが必要な場合は、10mの中継ケーブル（品番:A-10454-10）を別途手配してください。
●自動フラッシュバルブ本体とシャワートイレの電源を接続するため、コンセントを2口用意してください。
●給排水芯間距離
120mm 以外は、下記品番の芯間変更用ユニオンをご購入の上、施工の前にお取替えください。
（裏面の「オプション品」を参照ください。）
※セパレート形・センサー一体形の芯間変更用ユニオン A-5040(100)、A-5040(156)は取り付けできません。



給排水芯間変更用ユニオン

給排水芯間距離（mm）	100*	156
品番	A-5384 (100)	A-5519 (156)

＊：給排水芯間離距が100mmの場合、フラッシュバルブアダプター (品番：K-011A、K-011A-1、K-012A、K-012A-1) を別途手配してください。

既設のフラッシュバルブ	節水形	普通形
フラッシュバルブアダプター	K-011A K-011A-1	K-012A K-012A-1

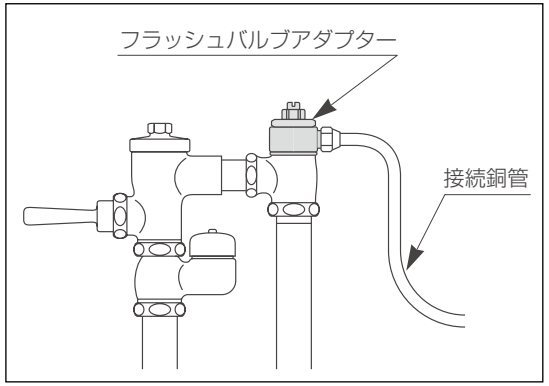
●古いバキュームブレーカーは経年劣化で正しく機能していない恐れがありますので、新しいバキュームブレーカーへの交換をお勧めします。(品番：CF-V8)
●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。
●シャワートイレ用の給水口が別にある場合など、シャワートイレ用分岐口に栓をする場合は、止水キャップセット (品番：A-5577) を別途手配してください。

取り付け前に（つづき）

6. その他（つづき）

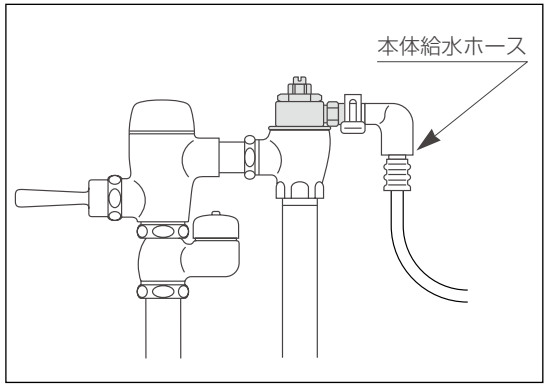
●既設のフラッシュバルブに、フラッシュバルブアダプターが組付いている場合は、止水栓（品番：A-582）を別途手配するか、下記部品を別途手配してください。

接続鋼管の場合



ホース接続アダプター	200-6300
止水キャップセット	A-5577

給水ホースの場合

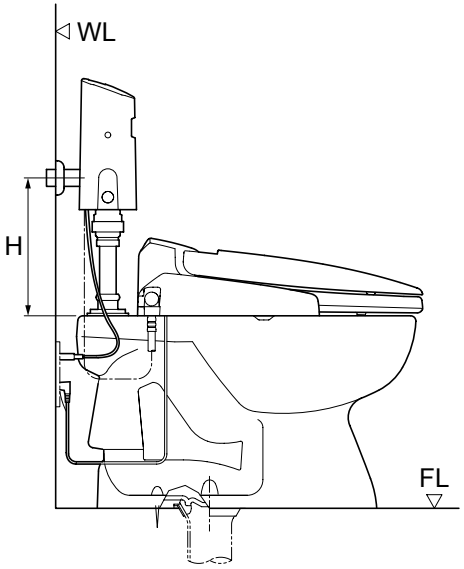


止水キャップセット	A-5577

完成図

※ 品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

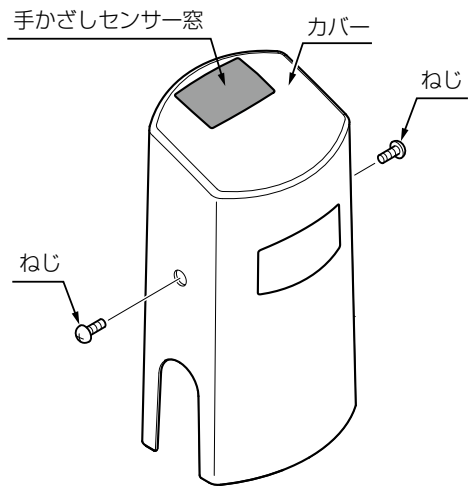
便器品番	H 寸法 (mm)	
	壁給水	床給水
C-4R	265 ± 30	
C-5R C-13R C-5K C-5KR C-25PU C-26U	265±30	270±30
C-51	325±30	330±30

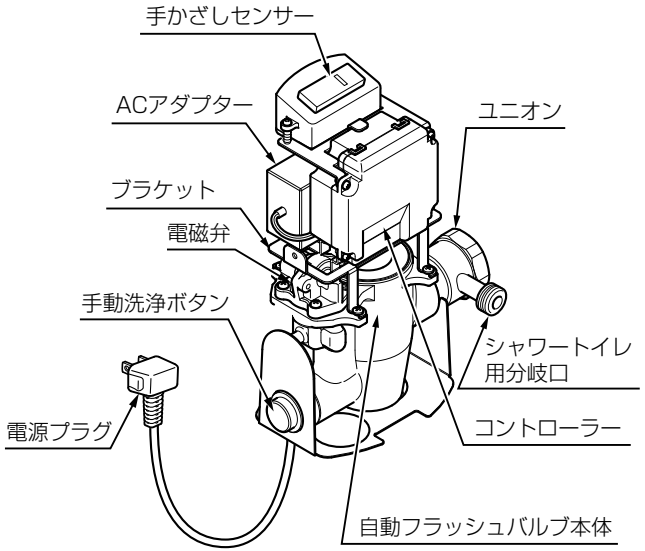


注意

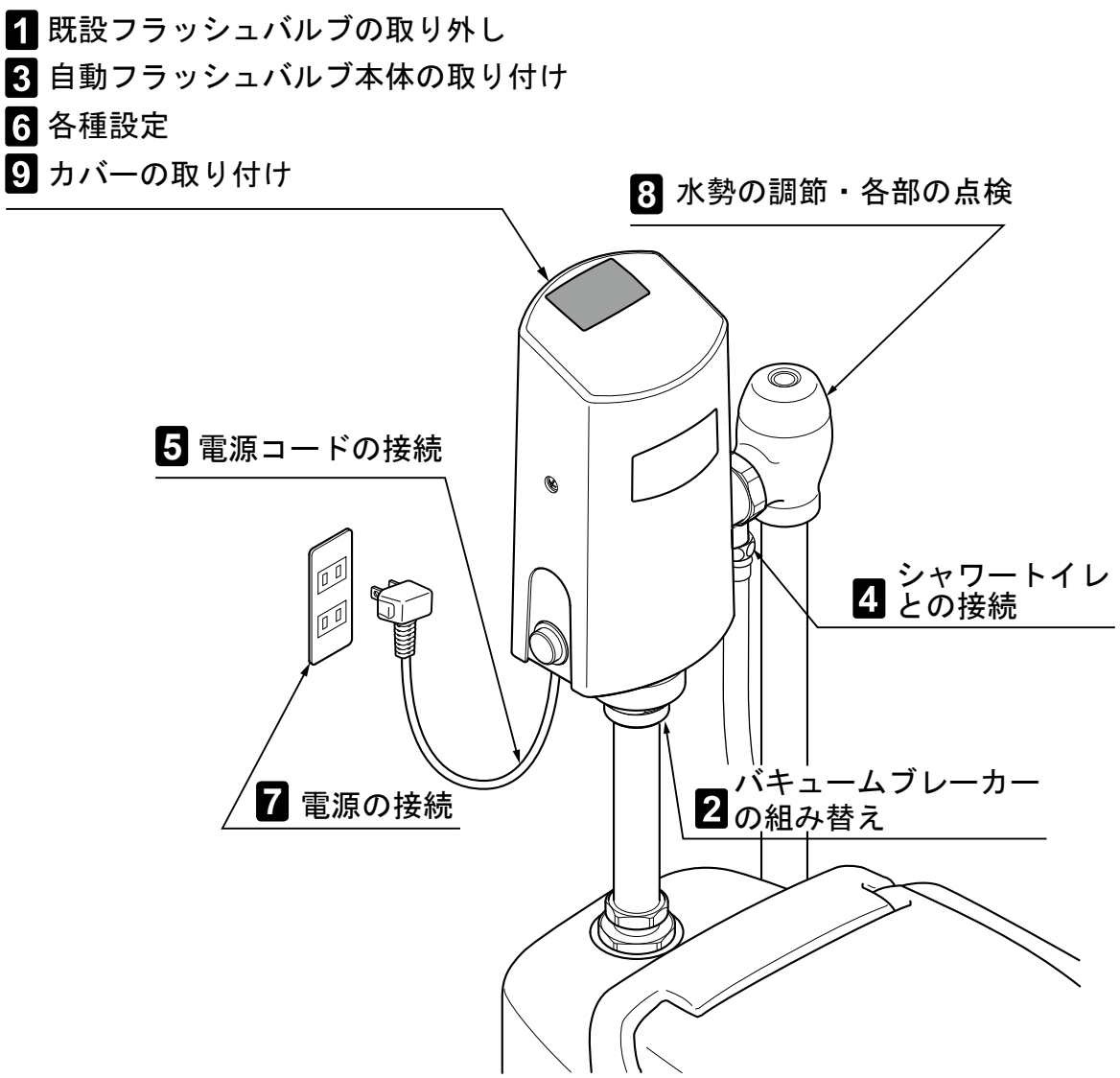
指定した寸法を外れると、センサーが正しく感知せず、誤作動する場合があります。

各部のなまえ





施工方法



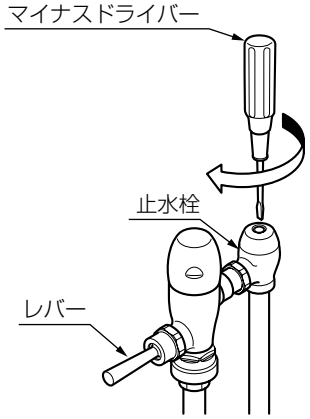
1 既設フラッシュバルブの取り外し

止水栓を閉める

❶ 止水栓をマイナスドライバーで図の方向に回して、閉めます。

❷ レバーを数回押して水が止まったことを確認します。

※ 止水栓を閉めても水が止まらない場合は、元栓を閉じて作業してください。（止水栓内部のチャッキコマの交換をおすすめします）

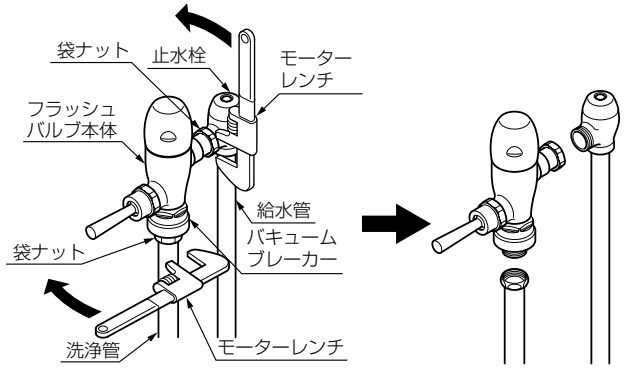


※イラストのフラッシュバルブは一例です。

既設フラッシュバルブの取り外し

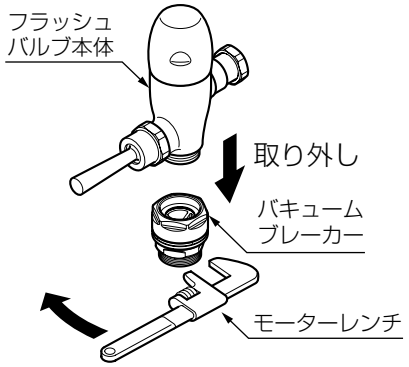
❶ モーターレンチを使用して、止水栓側面の袋ナットと、バキュームブレーカー下側の袋ナットを、ゆるめます。

❷ バキュームブレーカーが付いたままの状態で、フラッシュバルブ本体を取り外します。

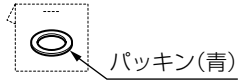


2 バキュームブレーカーの組み替え

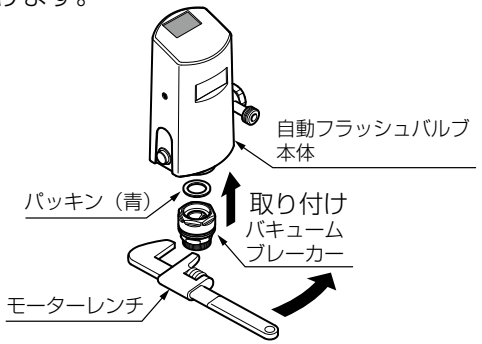
❶ モーターレンチでフラッシュバルブ本体からバキュームブレーカーを取り外します。



❷ ビニール袋から青パッキンを取り出します。
※パッキンは経年劣化により、正しく機能しない恐れがありますので、必ず新しいパッキンに交換してください。



❸ バキュームブレーカーを自動フラッシュバルブ本体に取り付けます。

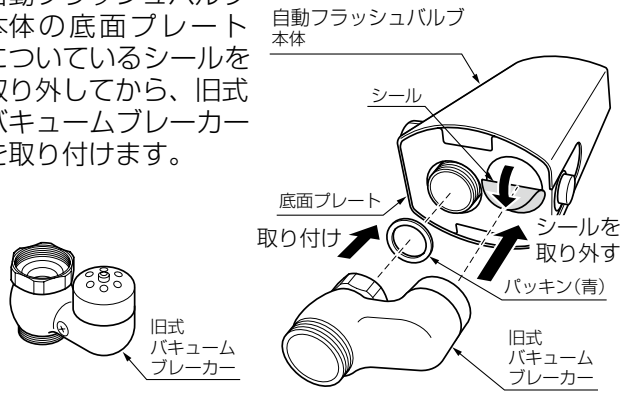


注意

自動フラッシュバルブ本体を落とさないように注意してください。

旧式バキュームブレーカー (CF-V5) の場合

自動フラッシュバルブ本体の底面プレートについているシールを取り外してから、旧式バキュームブレーカーを取り付けます。



＜自動フラッシュバルブ下面視＞

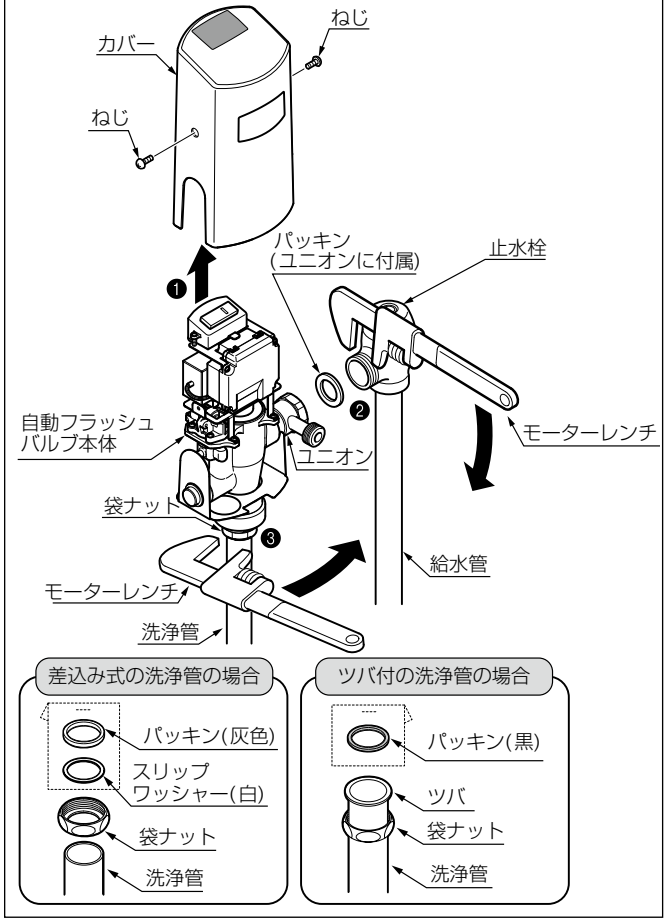
3 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

❶ カバー横のねじを外し、カバーを取り外します。
※外したねじをなくさないように注意してください。

右給水の場合

❷ 止水栓と自動フラッシュバルブ本体を固定します。
※ユニオンにパッキンが付いているか、確認してください。

❸ 洗浄管の袋ナットのパッキン・スリップワッシャーを下図の要領で取り替え、洗浄管と自動フラッシュバルブ本体を固定します。



3 自動フラッシュバルブ本体の取り付け（つづき）

注意

既設のフラッシュバルブが､｢左給水｣か｢右給水｣かを確認してから取り付けてください。

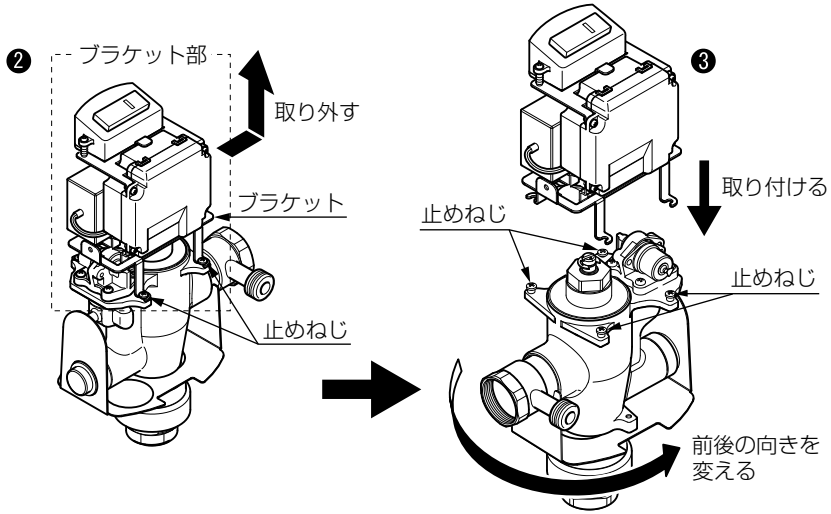
左給水の場合

❷ ブラケット部の止めねじ4本をゆるめ､ブラケット部を横にスライドさせて取り外します。

❸ 自動フラッシュバルブ本体の向きを反対に変えてブラケット部を4本の止めねじにはめ込んで、仮固定してください。
※水量調節スピンドル等の設定が不要な場合は、固定してください。

注意

●配線類のかみ込みやねじれがないように注意してください。
●ブラケット部の取り付けは、ずれがないように奥まで差し込んで止めねじ４本をしめつけてください。

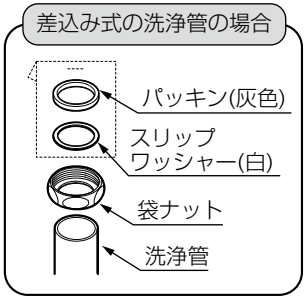


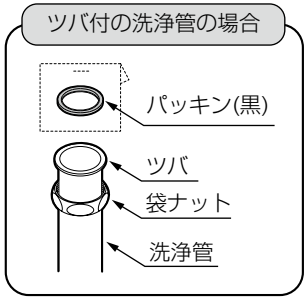
❹止水栓と自動フラッシュバルブ本体を固定します。
※ユニオンにパッキンが付いているか、確認してください。

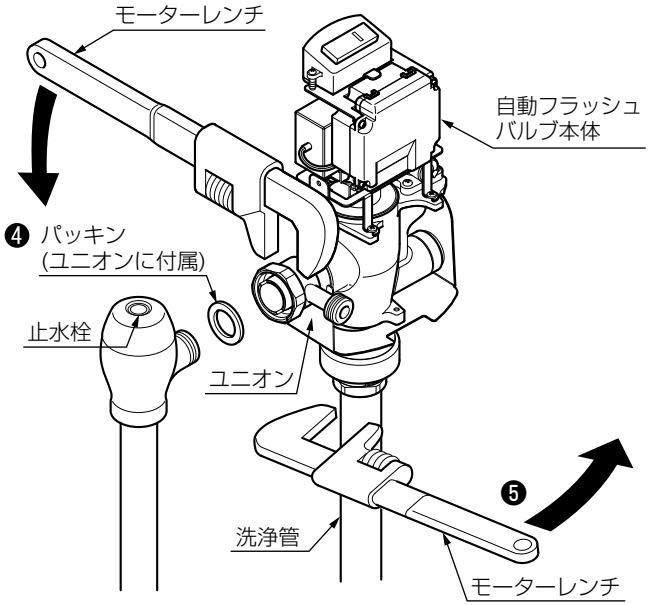
❺ 洗浄管の袋ナットのパッキン･スリップワッシャーを右図の要領で取り替え、洗浄管と自動フラッシュバルブ本体を固定します。

注意

自動フラッシュバルブ本体を止水栓、洗浄管に固定する際は、モーターレンチなどで配線を引っかけないように十分注意してください。







洗浄管の袋ナットは、手締めで回らなくなるまで仮締めした後、さらに1/2周（180°）締めます。
※締付参考トルク：18N・m

4 シャワートイレとの接続

事前にシャワートイレの設置を終了してから、シャワートイレとの接続を行ってください。

注意

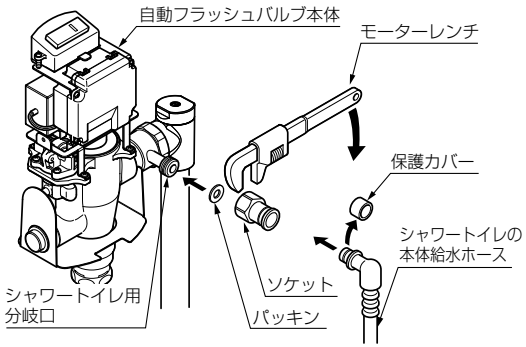
シャワートイレとの接続を行う際は、止水栓を閉めてから行ってください。
※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

注意

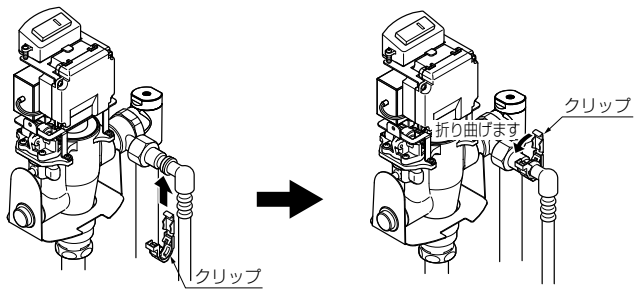
【クリップ式で接続する場合】
- **クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。**
  ※きちんとはまっていないと漏水します。
- **O リングをキズつけないように注意してください。**
  ※ Oリングが切れたり、キズついたりすると漏水します。

【クリップ式で接続する場合】

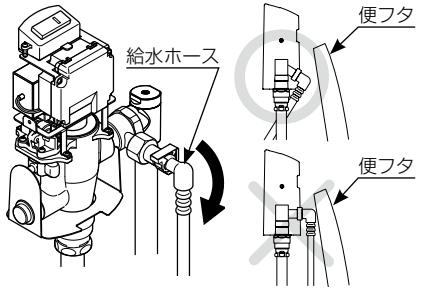
❶シャワートイレ用分岐口にソケットを取り付けます。
※ソケットにパッキンが付いているか確認してください。
❷ シャワートイレの本体給水ホース先端に付いている保護カバーを外し、本体給水ホースをソケットに差し込みます。



❸クリップを取り付けた後に折り曲げ、クリップを一周させて正常にはまっていることを確認してください。



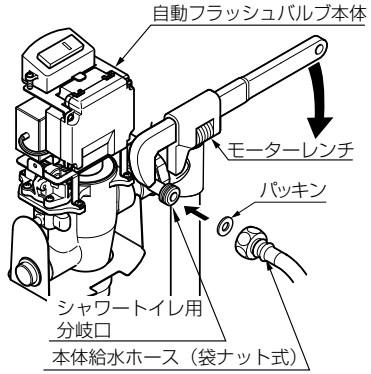
❹本体給水ホースを便フタが当たらないように動かします。



※ 給水ホースが折れないように注意してください。

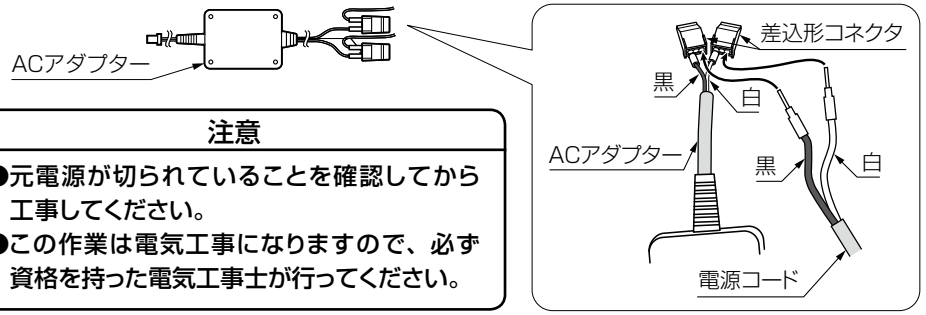
【袋ナット式で接続する場合】

❶シャワートイレの本体給水ホースをシャワートイレ用分岐口に取り付けます。
※シャワートイレの本体給水ホースにパッキンが付いているか確認してください。



5 電源コードの接続

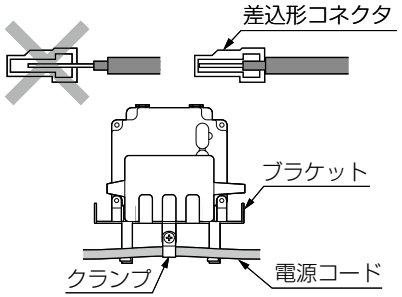
❶差込形コネクタの外側端子穴に電源コードの芯線を奥まで確実に差し込みます。
※必ず付属の差込形コネクタを使用してください。



注意

- **元電源が切られていることを確認してから工事してください。**
- **この作業は電気工事になりますので、必ず資格を持った電気工事士が行ってください。**

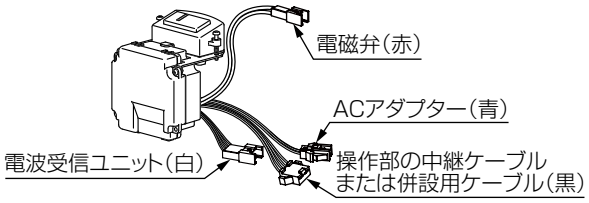
被膜が差込形コネクタに入るまで、奥まで確実に差し込んでください。芯線が露出していると、感電する恐れがあります。

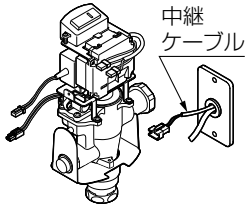


❷電源コードをブラケットのクランプに固定します。

❸コネクタを接続します。

コネクタ色	接続相手	接続有無
青	ACアダプター	必ず接続
赤	電磁弁	必ず接続
黒	操作部用中継ケーブル（併設用ケーブル）	有線式操作部と組み合わせ時に接続
白	電波受信ユニット	無線式操作部と組み合わせ時に接続





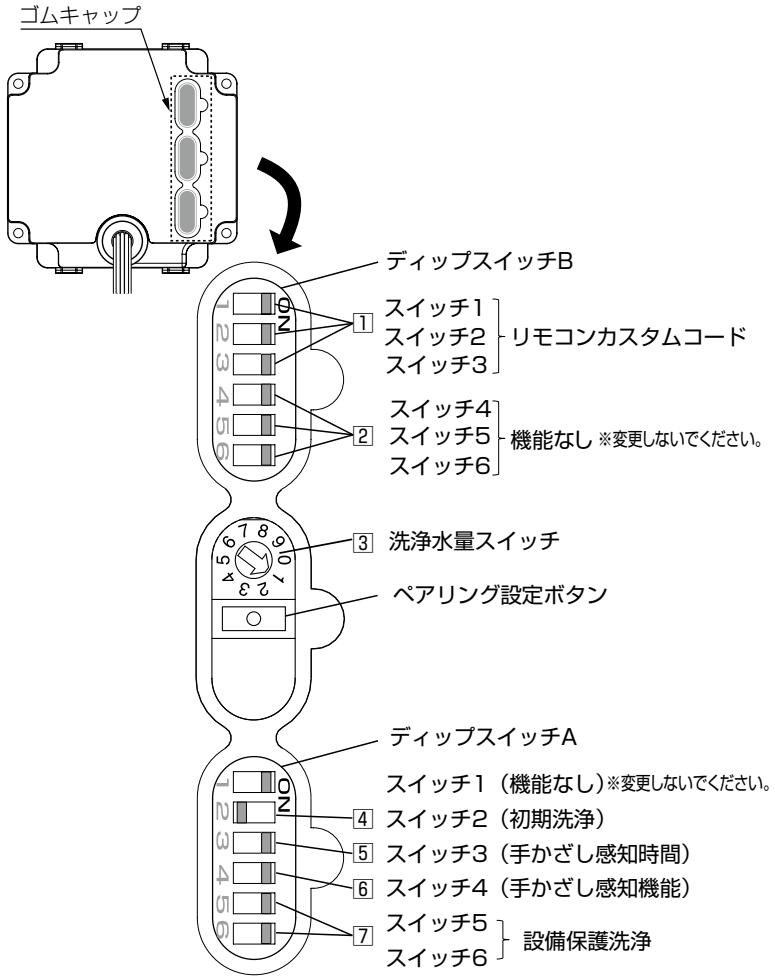
注意

中継ケーブルの切断・延長は行わないでください。故障の原因になります。5m以上の中継ケーブルが必要な場合は、中継ケーブル（10m）を別途手配してください。

6 各種設定

◆切替スイッチの設定

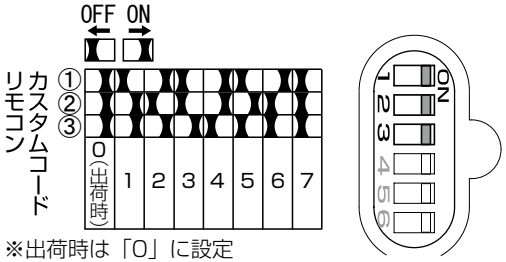
コントローラー裏側の切替スイッチで以下の設定が可能です。コントローラー裏側のゴムキャップを取り外して、設定してください。（下図はコントローラー裏側です。）各スイッチの切り替えは、精密ドライバー（一）を使用してください。



6 各種設定（つづき）

1 洗浄信号（リモコンカスタムコード）（ディップスイッチB）の設定

洗浄信号（リモコンカスタムコード）は、シャワートイレ側の洗浄信号と同じ番号に設定してください。
併設して設置する場合は、併設される製品とは別の洗浄信号（リモコンカスタムコード）に設定してください。誤作動の原因になります。



※出荷時は「0」に設定

2 シャワートイレ側での設定

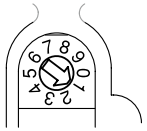
下記項目に関しては、シャワートイレ側で設定します。シャワートイレの施工説明書をご参照ください。

- **大洗浄・小洗浄判定時間の変更**
- **フルオート便器洗浄開始時間の変更**
- **フルオート便器洗浄の入/切**
- **洗浄信号(カスタムコード)の設定**
- **大洗浄・小洗浄の切替**

3 洗浄水量の設定

洗浄水量は、出荷時設定であらかじめ大10L・小 8L に設定しています。取り付ける便器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。
※表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

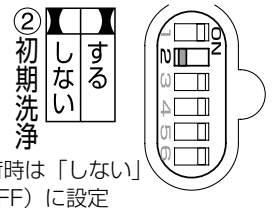
洗浄水量 大	洗浄水量 小	スイッチ番号
13L	13L	1
10L	8L	2
8L	6L	3
13L	8L	4
16L	16L	5



※出荷時は「10L」（スイッチ番号2）に設定

4 初期洗浄（ディップスイッチA）の設定

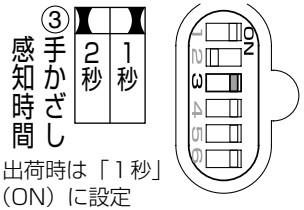
初期洗浄機能は出荷時「しない」（OFF）に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「する」（ON）に設定することができます。



※出荷時は「しない」（OFF）に設定

5 手かざし感知時間（ディップスイッチAの設定）

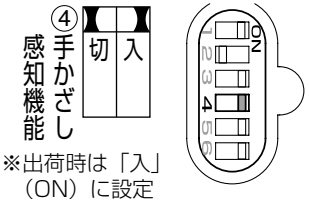
手かざしセンサーの感知時間は、出荷時「1 秒」（ON）に設定しています。スイッチを切り替えることで、「2 秒」（OFF）に設定することができます。



※出荷時は「1 秒」（ON）に設定

6 手かざし感知機能（ディップスイッチA）の設定

手かざし感知機能は、出荷時「入」（ON）に設定しています。スイッチを切り替えることで、「切」（OFF）に設定することができます。

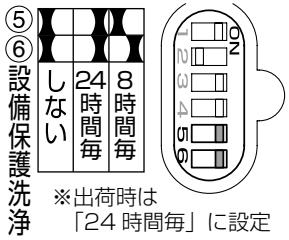


※出荷時は「入」（ON）に設定

6 各種設定（つづき）

7 設備保護洗浄（ディップスイッチA）の設定

設備保護洗浄機能は、出荷時「24 時間毎」に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「しない」、「8 時間毎」に設定することができます。
※「しない」に設定した場合、長時間大便器を使用しないと、封水切れを起こす恐れがあります。
※表のスイッチ以外は設定しないでください。故障の原因になります。



※ディップスイッチ A の 1、ディップスイッチ B の 4、5、6 は「ON」で使用してください。「OFF」にすると故障の原因になります。
※設定後、ゴムキャップを付けてください。

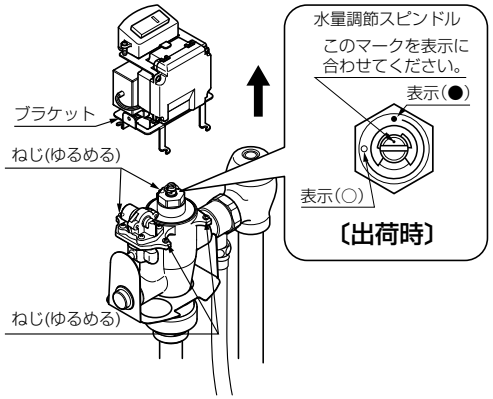
◆水量調節スピンドルの設定

❶ 赤色コネクタを外します。

❷ ブラケットのねじ（4か所）をゆるめ、ブラケットを外します。

❸ 水量調節スピンドルの丸印を表示ラベルの表示に、マイナスドライバーで合わせます。水量ラベルの表示は、便器によって異なります。

○に合わせる.....右に回す
●に合わせる.....工場出荷状態
（全開から右に一周目）



〔参考〕回転方向について

水量調節スピンドルを左（反時計方向）に止まるまで回すと約2L増えます。

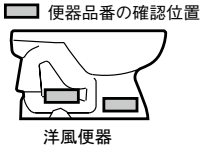
6 各種設定（つづき）

◆洗浄水量の設定

取り付ける便器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。「便器のタイプと設定方法」に従い、**必ず「1洗浄水量スイッチ」と「2水量調節スピンドル」の両方の洗浄水量を設定してください。**

●便器品番の確認

下図を参照して、確認してください。



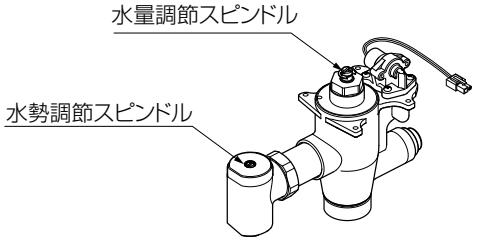
●便器のタイプと設定方法

便器品番	1洗浄水量スイッチの設定	2自動フラッシュバルブ本体の水量調節スピンドル位置
C-5RT/5RTSM	3（大 8L/ 小 6L）	○マークの位置に合わせる。
C-11R		
C-13R		
C-22PR		
C-P13P		
C-4R/4RSM	2（大 10L/ 小 8L）	変更なし
C-5KR/5KRSM		
C-5R		
C-51		
C-25PU	4（大 13L/ 小 8L）	
C-26U		
C-5K		
その他	1（大 13L/ 小 13L）	

※和風便器、汚物流し、C-35、C-35K、C-5FT には取り付けできません。

3 水勢調節スピンドルの設定

●出荷時、流動時水圧が 0.1MPa で約 10L になるように設定しております。ただし、お使いの水圧条件によっては水勢と水量が変動するため、水勢の調節をしてください。



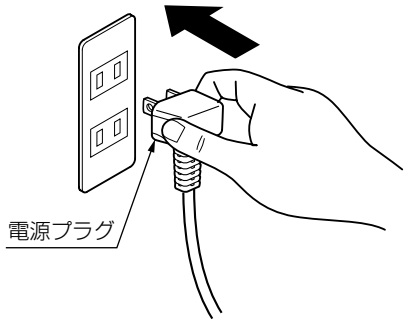
注意

洗浄水量設定は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。
※ 便器の詰まりの原因となります。

7 電源の接続

製品の接続・設定が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

※初期洗浄機能が「入」になっている場合は、大洗浄が1回行われます。



8 水勢の調節・各部の点検

❶ 止水栓が閉まっていることを確認し、元栓を開けてください。

注意

電源が入っていないと洗浄水が止まらない可能性があります。必ず電源が入っていることを確認してください。

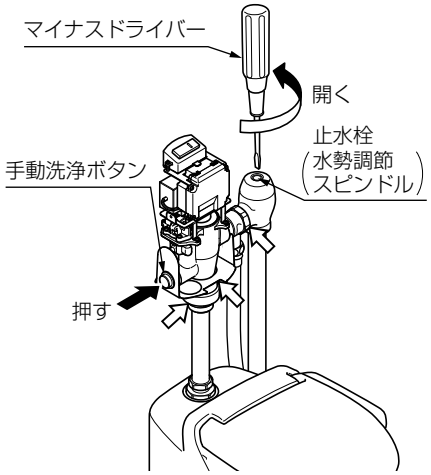
❷ 手動洗浄ボタンを押しながら止水栓を開け、水勢を調節します。

●水勢の調節

使用場所の水圧・配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スピンドルを回転させて適正な調節をしてください。

右に回転 ..... 水勢が弱くなる。
左に回転 ..... 水勢が強くなる。

❸ この時、水はねがなく、洗浄水が鉢全体に回り、接続部（下図の矢印⇨参照）や自動フラッシュバルブ本体に漏水などの異常がないことを止水時と洗浄時にご確認ください。



❹ 鉢内洗浄の良否は長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個が1回の操作で排出できるかどうかで確認してください。

❺ 次の項目を確認してください。

1 配線の確認

青色コネクタ、赤色コネクタおよび黒色コネクタが接続されているか、確認してください。

●コネクタは確実に接続していますか？

→「施工方法」の「5 電源コードの接続」参照

2 ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

●自動フラッシュバルブ本体、止水栓はしっかり取り付けていますか？

→「施工方法」の「3 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照

3 漏水の確認

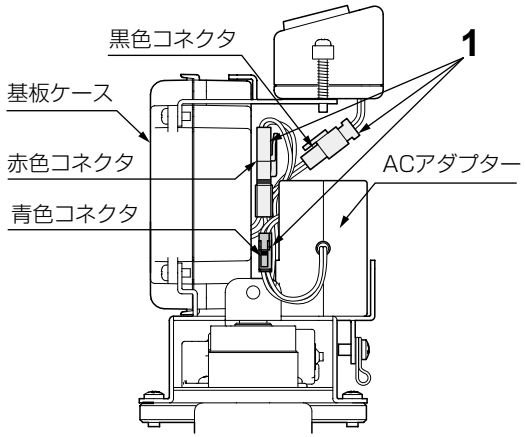
漏水がないか確認してください。

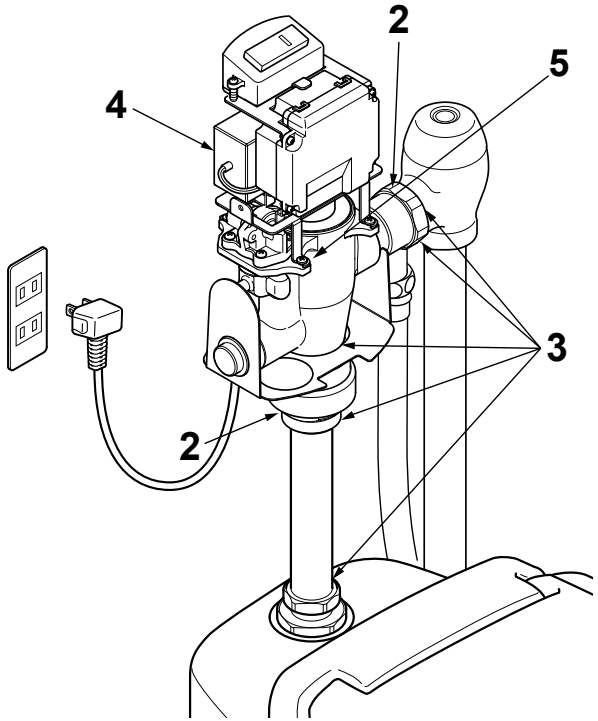
●接続部はしっかり締め付けていますか？

→「施工方法」の「3 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照

●シャワートイレとの接続は、確実にされていますか？

→「施工方法」の「4 シャワートイレとの接続」参照





8 水勢の調節・各部の点検（つづき）

4 洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定通りの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

●洗浄水量は正しく設定されていますか？

→「施工方法」の「6 各種設定」参照

●止水栓は開いていますか？

→「施工方法」の「8 水勢の調節･各部の点検」参照

●給水圧力は適正ですか？

→最低水圧が組み合わせる衛生陶器の仕様水圧を満たしているか、最高水圧0.75MPa（静水圧）以下であることをご確認ください。

5 器具内の清掃

配管内のゴミが器具につまっていないか確認してください。

●ピストンおよび自動フラッシュバルブ本体シート部のゴミ付着はないですか？

→ピストンおよび自動フラッシュバルブ本体シート部の掃除をします。
掃除方法は取扱説明書（P.18）を参照してください。

●ダイアフラムのゴミつまりはないですか？

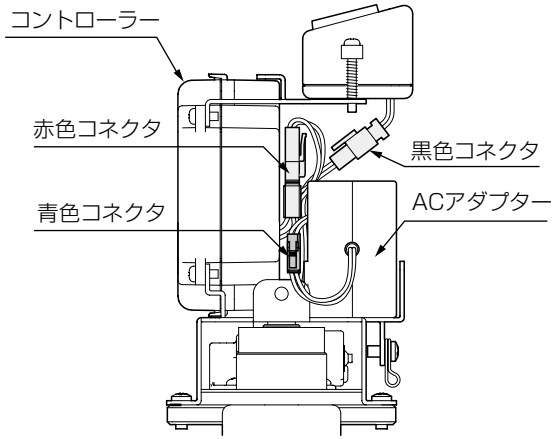
→ダイアフラムの掃除をします。
掃除方法は取扱説明書（P.19）を参照してください。

9 カバーの取り付け

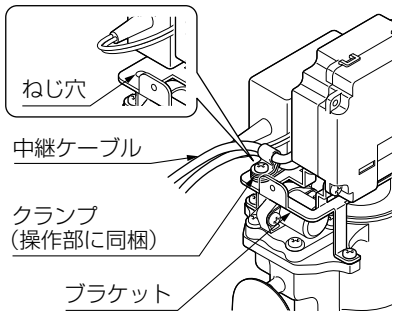
❶ 配線のかみ込みを防止するため、青色コネクタ、赤色コネクタおよび黒色コネクタを、AC アダプターとコントローラーの間に収めてください。

警告

取り付けをあやまると、感電の恐れがあります。



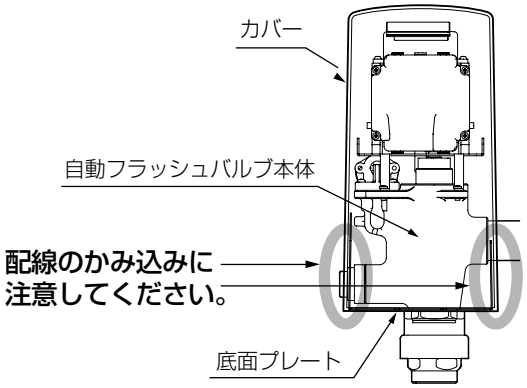
❷ 中継ケーブルをブラケットに固定します。ブラケットの後方にあるねじ穴に、クランプ(操作部に同梱)で固定して下さい。



❸ 底面プレート両側がカバーの内側にあることを確認し、配線をかみ込まないように注意しながらカバーをかぶせます。

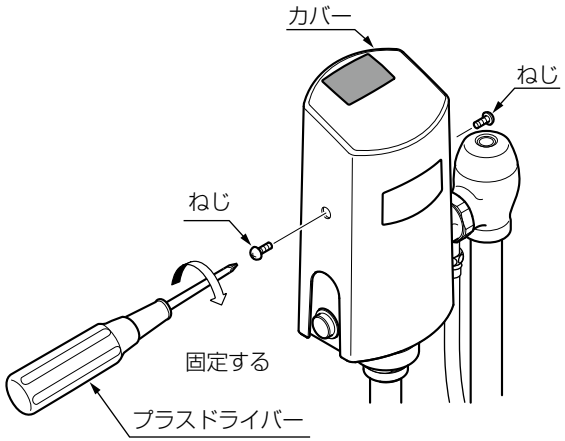
警告

配線をかみ込むと、故障や感電の恐れがあります。



●底面プレート両側がカバーの内側にあることを確認してください。

❹ カバーを横からねじで 2 ヶ所固定します。

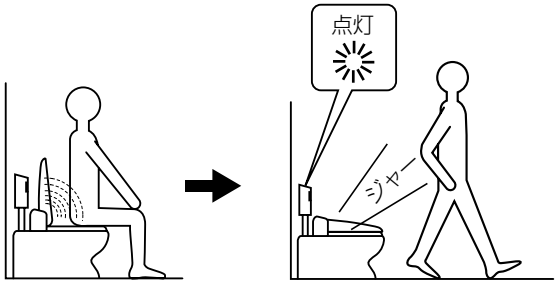


取り付け完了後の確認

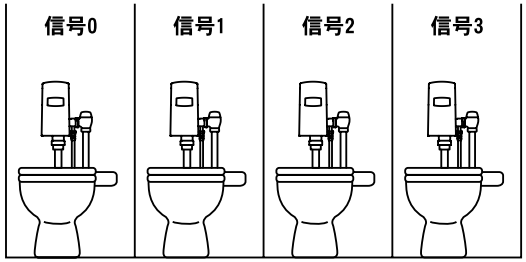
1. フルオート便器洗浄の確認

シャワートイレに腰かけると、着座センサーが使用者を感知します。
6 秒以上腰かけた後、立ち去ると、**6 秒後**に表示ランプ(赤)が点灯し、洗浄水が流れることをご確認ください。

フルオート便器洗浄すると、その後 30 秒間はフルオート便器洗浄できませんので、ご注意ください。



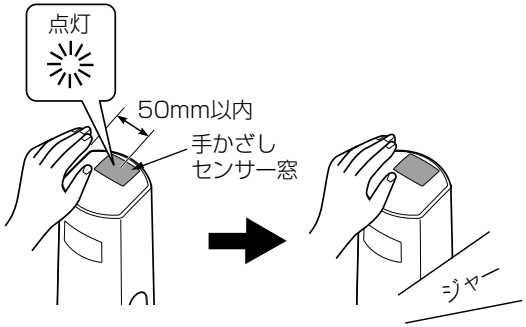
左右または前後方向に 2 台以上並べて設置した場合、隣の洗浄信号（リモコンカスタムコード）を受けて誤作動する恐れがあります。
このような場合、自動フラッシュバルブおよびシャワートイレの洗浄信号（リモコンカスタムコード）を変更してください。
変更方法は「6 各種設定」およびシャワートイレの施工説明書を参照してください。



取り付け完了後の確認（つづき）

2. 手かざし洗浄の確認

手かざしセンサー窓から**50mm以内**に**2秒以上**手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1 度洗浄すると、その後 **10 秒間**は洗浄できませんのでご注意ください。



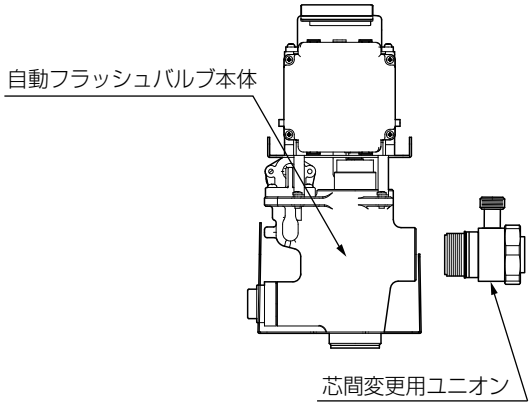
3. 操作説明シールの貼り付け

使用者に操作方法がわかるように、見やすい位置にお貼りください。

オプション品（別売）

■ 芯間変更用ユニオン

ユニオンを交換することにより芯間距離を 100mm や 156mm へ変更が可能です。



芯間変更用ユニオン品番

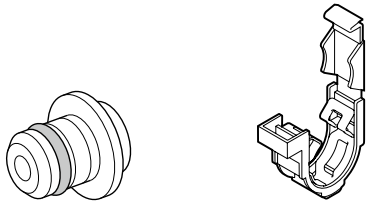
給排水芯間距離（mm）	100*	156
品番	A-5384 (100)	A-5519 (156)

*：給排水芯間距離が 100mm の場合、フラッシュバルブアダプター(品番：K-011A、K-011A-1、K-012A、K-012A-1)を別途手配してください。

既設のフラッシュバルブ	節水形	普通形
フラッシュバルブアダプター	K-011A K-011A-1	K-012A K-012A-1

■ 止水キャップセット（品番：A-5577）

シャワートイレ用分岐口に栓をすることで、シャワートイレなしでも、オートフラッシュ C の使用が可能です。



止水キャップ　　クリップ

※本書および同梱の取扱説明書は、必ずお客さまにお渡しください。